

のどか通信

平成30年 2月



本年もどうぞよろしく申し上げます

新しい年も一ヶ月が過ぎて、とても寒い日が続いていますね。今年は、二月三日が節分、2月4日が立春となり、暦の上ではもう春になります。

今年の干支は戌です。戌年について調べてみました。

干支は戌戌（つちのえいぬ）



干支と言うのは十干（じっかん）と十二支をあわせたものです。十干の「干」は木の幹が語源で、甲（こう）、乙（おつ）、丙（へい）、丁（てい）、戊（ぼ）、己（き）、庚（こう）、辛（しん）、壬（じん）、癸（き）の漢字で表します。

つぎに、十二支の「支」は幹の枝をあらわしています。古代中国では天空の方角を12に分け、それぞれの方角の記号として動物の名をつけたという説があります。子（ね、し）、丑（うし、ちゅう）、寅（とら、いん）、卯（う、ぼう）、辰（たつ、しん）、巳（み、し）、午（うま、ご）、未（ひつじ、び）、申（さる、しん）、酉（とり、ゆう）、戌（いぬ、じゅつ）、亥（い、がい）をいいます。

この「十二支」と「十干」を組み合わせると、60種の組み合わせができます。これを「六十干支」または「十干十二支」または単に「干支」（えと）といいます。一巡には日にあてはめると60日、年にあてはめると60年かかることとなります。

高校野球で有名な甲子園球場の名前は、干支が甲子の年（1924年、大正13年）にできたのでこの名前がついたと言われています。

干支の戌にはどんな意味があるの？



「戌」の本来の読みは「じゅつ」です。「戌」という漢字は、「一印」と「戈（ほこ）」という漢字から成り立ち、もとは作物を刃物で刈り取り、ひとまとめに締めくくることを表しました。

戌の縁起について

犬といえば、むかしから人間との深い関わりがあり、何ととっても忠誠心に厚く、親しみ深い動物として知られています。戌は「安全」「忠誠」「献身」「保護」の象徴とされています。また、犬はお産が軽いとされることから、安産については戌の日が吉日とされています。

新しい職員を紹介します



昨年10月よりのどかの三田サテライトに勤務しております、看護師の松尾八重子といたします。看護師の仕事をして、ブランクもありますが約23年になります。看護師の仕事をして訪問看護の仕事が一番楽しく、これからも頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

最後に私が大切にしていることについて…

鏡の前で「ありがとう」と言っています。鏡の中の自分を見つめながら「ありがとう」というのです。自分自身の感謝は豊かで心地よい気持ちにさせてくれます。ありのままの自分に感謝していれば、どこにいても何をしていても磁石のように幸せな人々やその状況に囲まれます。

「ありがとう」は魔法の言葉ですね。



書道家 末廣博子さんの書かれた『組み合わせ文字』です。
愛・喜・夢のそれぞれの文字が、ひらがなの“ありがとう”で書かれています。